

学年末考査終了 今日からが勝負

昨日で学年末考査が終了しました。十分な準備をして取り組みましたか。インプットした内容を完全にアウトプットはできていましたか。今日から大切なことは、考査を受けただけでなく、「振り返り」をしっかりと行うことです。答案用紙が返却されるまで待っているようでは確かな成長は望めません。できなかった問題や気になった問題を「今」から確認することが大切なのです。

部活動の大会も全く同じです。大会後に気抜けしているチームと課題に向かってその日からトレーニングを開始しているチームを比較すれば答えは一目瞭然でしょう。

勿論、息抜きやリフレッシュは必要です。しかし、息抜きやリフレッシュも時間が必要以上に長時間になれば、もはや意味をなさなくなります。

2月・3月は2年生0学期とも言われます。苦手教科を克服するべく真正面から取り組むとともに、得意教科を一層伸ばすように精進しましょう。プラスの言葉とともに。

言葉が意識を変える 意識が変われば行動が変わる
行動が変われば結果が変わる
結果が変われば運までも変わる
運が変われば人生が変わる

高校生の「学び」とは

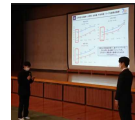


商業高校、工業高校や農業高校では、実習を通してそれぞれの専門分野を学びます。例えば、検定試験前の商業高校では放課後7時過ぎまで検定試験の学習をできるまでやります。農業高校では育てた野菜や肉を販売します（育てるだけでもとても大変です）。工業高校では危険な作業を伴いながらも高度な技術を習得します。それぞれに「学び」があるのです。普通科では、普通科の各教科において「学び」を成立させるわけです。さらに、身についた知識・技能を生活の中で知恵に変えていくこと大切なのです。身につけた者にしか分からないすばらしい景色があるのです。

2月			
曜	行事予定		
15	水	追考査	
16	木	追考査	
17	金		
18	土		
19	日	第3回英語検定2次	
20	月		
21	火	40	
22	水	40	
23	木	※「天皇誕生日」	
24	金	40	
25	土	全統模試(1年)	
26	日		
27	月		
28	火	特 卒業式予行、卒業式準備	
3月			
曜	行事予定		
1	水	卒業式	183
2	木		184
3	金	前期選抜 学力検査	
4	土		186
5	日		187
6	月	前期選抜 特色面接等	
7	火	入試事務	
8	水	入試事務	
9	木	追検査(ない場合は午前のみ授業)	185
10	金	追検査(ない場合は午前のみ授業)	186
11	土		187
12	日		188
13	月	入試事務	187
14	火	入試事務	188
15	水	前期選抜 合格発表	189
16	木	40 確認テスト(国語、数学、英語) 教科書販売	190
17	金	終業式	191



ベネッセ進路講演会開催

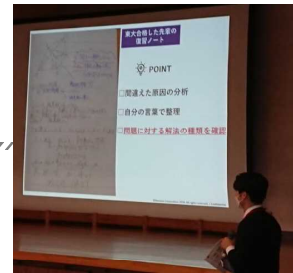


2月14日(火) 考査最終日の放課後、ベネッセコーポレーションの小林壮様にお出でいただき「**新課程における共通テスト**」についてお話いただきました。小林様は福島市出身で福島高校時代は学習と野球に没頭されました。分析力に極めて長けており、黎明生の進路実現のために貴重なデータを提供されています。ご自分の失敗談から「**受験は2年後ではない1年後に大方が決まってしまう**」と力説されました。

- 国語：試験時間90分に(10分間延長)、大問数が1問増える(近代以降の文章)
近代以降の文章が3問(45点、45点、20点)、古典が2問(45点、45点)
- 数学②：試験時間が70分に(10分延長)、出題範囲に数学Cが含まれる
- 情報Ⅰ：新設教科、試験時間は60分、2日目の最後の時間帯(17:00～18:00)
- 地歴公民：6科目から最大2科目選択、選択方法注意
 - ①「地理総合、地理探究」②「歴史総合、日本史探究」③「歴史総合、世界史探究」
 - ④「公共、倫理」⑤「公共、政治・経済」⑥「**地理総合、歴史総合、公共**」

安積黎明高校での必勝パターン

- 2年生の冬休み前までに国語、数学、英語を完成させる。**確かな土台作り**
- 2年生1月からは理科、社会を含めたトレーニング、二次力育成
- 3年生からでは遅い。全国の受験生が誰でもやりだす。
- 「**振り返り力**」「**復習力**」は全国No.1の意識でやる。
- 難しい模試受験のチャンスを絶対に逃さない**。目標は高く



ざれごと

2月11日(土)は学校開放の日だった。前日からの大雪のためJRにも遅れが発生していた。こんな悪天候の日に登校する生徒はほとんどいないだろうと思っていたが、8時には既に**一心不乱に学習している生徒の姿が見られた**。時間が経つにつれて生徒数が増え30人を超えただろうか。中にはJRが1時間遅れたのにも関わらず登校した生徒もいた。自宅、図書館、公民館、カフェ等で学習していた生徒もそうだろうが、どこかで自分を追い込む場面を経験したはずだ。

周りのことが一切気にならないほど、目の前のことに集中している状態のことを「ゾーン」という。ゾーンに入るとパフォーマンス力が最大に発揮されるので、ものすごい成果が生み出されることがある。ゾーンに入ることができるのはアスリートだけではない。**方法さえ知っていれば誰でも入ることができる。**極限まで集中力が高まると「失敗したらどうしよう」とか「緊張して体が動かない」といった心配事もなくなる。**ゾーン状態になるには3つの条件**があるとされている。学習や部活動に当てはめてみてはどうだろうか。

- 一心不乱に打ち込んでいる ← 「集中力」を高める方法を知っている
- 体がリラックスしている ← 「腹式呼吸法」「自分流」を知っている
- 普段の練習に自信がある ← 「**練習は本番と同じに 本番は練習通りに 全ては日常生活から**」を認識している